年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：　情報　　科　目：　　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　　5 組

教科担当者：（１組：石原　）（２組：石原　）　（３組：石原　）（４組：石原　）（５組：石原　）

使用教科書：（ 実教出版　最新情報Ⅰ　情Ⅰ７０５　　）

教科　情報　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】情報と情報技術等を活用し、問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得するとともに、人との関わりについて理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】種々の事象を情報とその結びつきとしてとらえ、問題の発見・解決にむけて、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参加する態度を養う。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けるとともに、情報化の進展する社会の特質およびその社会と及び人間のかかわりについて理解している。	情報と人との結びつきの視点からとらえ、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に用いることができる。	情報社会とのかかわりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報を活用し、自ら改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】身近なデータや情報システムネットワークの仕組みと機能を理解し、安全に使用できる知識を育成する。 【思考力、判断力、表現力等】情報の特性に応じた活用事例を理解し、その最善の活用方法を選択できる。 【学びに向かう力、人間性等】情報の活用方法について、自分自身の生活と法や仕組みについて知ろうとしている。	・指導内容 第１章　情報社会と私たち 第３章　システムとデジタル化 第４章　ネットワークとセキュリティ ・教材教具 教科書・パソコン	【知識・技能】コンピュータ等の機器を社会のかかわりの中で安全に活用する知識と技術を理解している。 【思考・判断・表現】コンピュータ等の特性を踏まえ、どのような仕組みで動作し、その効果を最大限発揮できるよう考え、使うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】無形のものについてどのようなものがあるか、具体化できるようにしているか。	○	○	○	10
				○	○	○	16
	定期考査・答案返却			○	○		2
2学期	【知識及び技能】問題解決の手段や手順について理解し、その解決方法を選択することができる。 【思考力、判断力、表現力等】ソフトウェアを適切に選択・活用し、解決案を検討・分析し、結論を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 フローチャート表現やトレース、プログラミング言語に興味を持ち、解決方法を広げようとしている。	・指導内容 第５章　問題解決とその解決 第６章　アルゴリズムとプログラミング ・教材教具 教科書・パソコン	【知識・技能】表計算ソフトを用いてデータの整理や図表表現をすることができる。 【思考・判断・表現】問題解決の制約条件を踏まえ、条件に合致した表現を選択し、その評価をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プログラミング言語に関心を持ち、自身の解決イメージを言語化し、プログラミングしようとしている。	○	○	○	10
				○	○	○	18
	定期考査・答案返却			○	○		2
3学期	【知識及び技能】メディアの機能や分類について理解するとともに、各種表現メディアを用いて表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】ユニバーサルデザインやユーザビリティを踏まえ、情報伝達の促進を図ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題作品の相互評価を行うとともに、よりよいコンテンツの制作について、技能を高めようとしている。。	・指導内容 第２章　メディアとデザイン ・教材教具 教科書・パソコン	【知識・技能】話す、読ませる、見せる等の提示の仕方について、特性に応じて使い分けることができる。 【思考・判断・表現】アクセシビリティやユーザビリティはもとより、理解度を高める見せ方が実現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】他社の提出した課題作品から、よりよくするための技術を吸収しようとしているか。	○	○	○	6
				○	○	○	6
							合計 70